

SC接客ロールプレイングコンテスト感染防止運営のガイドライン

基本的には緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令された状況下においては政府機関、自治体の要請に従います。
それを前提に、開催する場合には下記、感染防止策を徹底してコンテストを実施します。

「3密」回避

「密閉」回避

- 休憩時は窓・出入口を適宜開放、送風機を導入し、会場の換気を図る。二酸化炭素濃度測定器で計測して、必要換気量を保つ。
※会場の換気システム要確認
- 対面で食事や会話をしないようにする。

「密集」回避

- 政府機関・自治体の要請等による上限人数・収容率を満たす席数とする。

「密接」回避

- 必ず不織布マスクを着用する。
- 審査員席・レジ前等、必要に応じてアクリル板を設置する。
- 競技者控室を設ける場合は、パーティションを設置する。

消毒・検温・不織布マスクの徹底

運営側

- 感染防止のチェックポイント:感染防止対策のチェックポイントを作成する（本紙）。
- スタッフ・審査員の衛生:不織布マスク着用、手洗いや手指消毒、検温の徹底を図る。
- ゴミの廃棄:ゴミを回収するスタッフは、不織布マスクや手袋を着用する。不織布マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う。
- 隔離スペース:イベント開催中に来場者・スタッフ・関係者が体調不良を訴え感染が疑われる際は、医療機関を受診いただく。

ご来場される方（審査員・競技者含む）

- 不織布マスクの着用:来場者には、不織布マスク着用を依頼する。
- 体温検査:入場時に来場者の体温検査を実施。37.5度以上の人は入場を断わることを検討する。
- 連絡先登録:入口で代表の方に名刺をいただき、個人情報を保持する。
- 感染が発生した場合は、感染経路特定のため、必要情報を政府機関・自治体の要請により開示する。
- 手の消毒:非接触型アルコール消毒器を設置する。
- マナー喚起:咳エチケットや顔に触れないようにするなど、マナーについて、スタッフより注意喚起を行う。
- 会場内では声出し禁止。応援の際、鳴り物（小太鼓・ステックバルーン等）は使用可能。
マスクを外して飛沫が発生する鳴り物（笛・ラッパ等）は禁止。

運営スタッフの体調管理

- スタッフ・審査員は来場前に、体温測定、自覚症状の確認を行う。
- 当日朝の体温測定を実施。発熱又は風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養。家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- 手洗いは、30秒程度かけて水と石けんなどで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。

競技会場の衛生管理

- 他人と共用する物品や手が頻回に触れる箇所を工夫して、最低限にする。
- 特に、高頻度で手が接触する場所=ハンドポイントに注意する。
- 定期的（競技者毎）に除菌・洗浄を実施する。